

目次

安全にお使いいただくために	2
このマニュアルの表記	2
商標および著作権について	3
1 お使いになる前に	4
本製品について	4
運用までの手順	6
各部の名称と働き	7
お使いになる上でのご注意	9
2 設置	11
設置場所について	11
接続する	11
3 システムの設定	12
ハード設定	12
ソフト設定	12
4 接続形態	13
使用するケーブル	13
ケーブル接続	14
5 運転	15
電源を入れる	15
電源を切る	16
6 トラブル時の対応	18
トラブルの確認	18
トラブルの対応	18
7 仕様	20
本体仕様	20
コネクタ仕様	20

安全にお使いいただくために

本製品には『はじめにお読みください』というマニュアルが添付されています。このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

このマニュアルの表記

■警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	🚫で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■製品の呼び方

本文中の製品名称などを、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
電源制御ボックス（FMRP-203）	本製品
無停電電源装置（FMUP-203、FMUP-202）	UPS
Windows Vista® Home Basic	
Windows Vista® Enterprise	Windows Vista
Windows Vista® Business	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® .NET Framework	.NET Framework

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2007

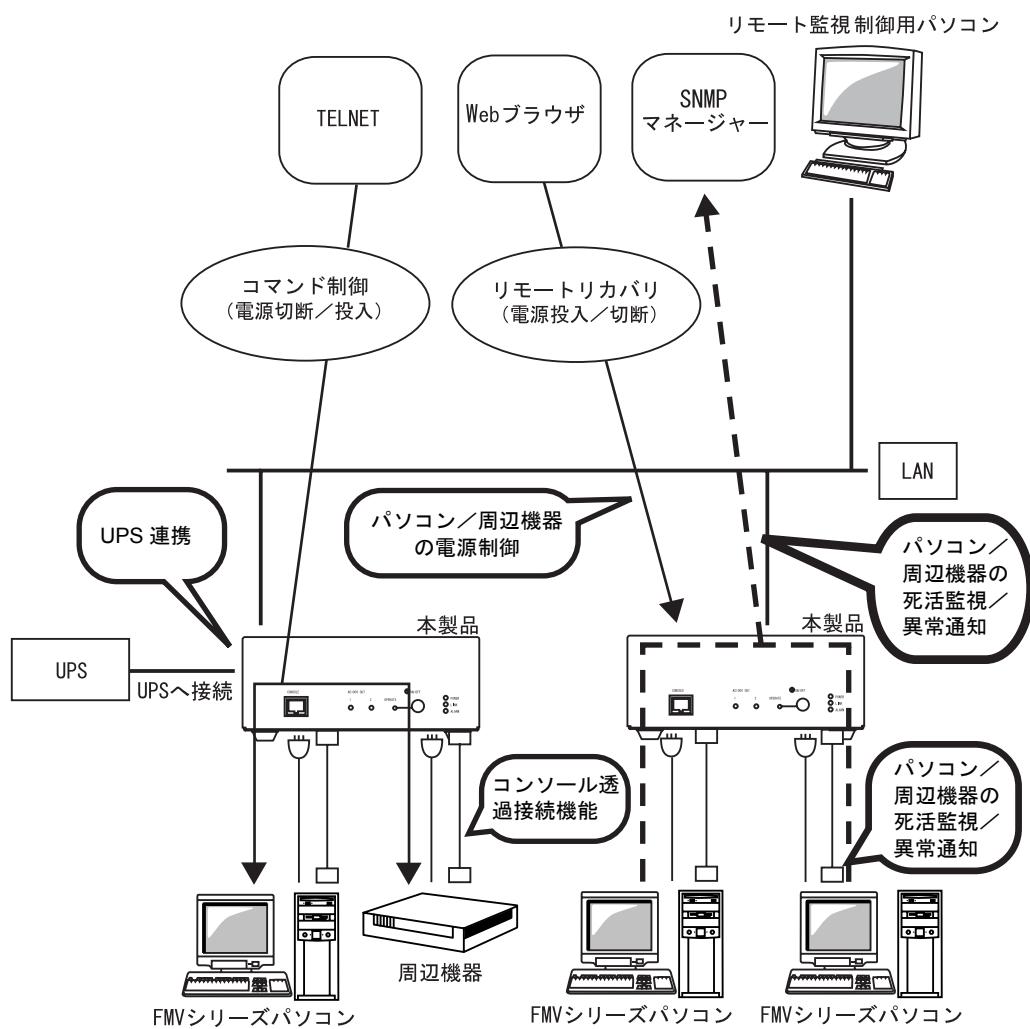
1 お使いになる前に

本製品について

本製品はパソコンや周辺機器を一元管理する装置です。ネットワーク経由で、パソコンや周辺機器の死活監視（パソコンの稼動状態の監視すること）と電源制御（電源を入れたり切ったりすること）を行うことができます。本製品はパソコンや周辺機器を最大2台まで管理できます。詳しくは『オペレーションガイド』をご覧ください。

■本製品の機能について

ここでは、本製品の主な機能について説明します。なお、接続するパソコンにインストールされているWindowsによっては、一部使用できない機能があります。詳しくは「動作環境について」（→P.5）をご覧ください。



□パソコン/周辺機器の電源制御

- ・接続した機器を個別または一括で、電源を入れたり切ったり（パソコンの自動シャットダウンを含む）することができます。
- ・本製品前面にある電源ON/OFFスイッチを操作することによって、2つのAC出力コンセントから連動しての電源制御が可能です。

- ・Web ブラウザや TELNET 接続およびアプリケーションから、遠隔で 2 つの AC 出力コンセントを個別に電源制御することができます。
- ・最大 12か月のカレンダースケジュールによって、個別に 2 つの AC 出力コンセントの電源を入れたり切ったりすることができます。

□パソコン／周辺機器の死活監視／異常通知

- ・ネットワーク経由の Ping 監視や、RS-232C インターフェース経由の接続装置の死活監視をします。
- ・SNMP エージェント機能を搭載しており、本製品や接続したパソコンの状態または異常の発生を、SNMP マネージャソフトにより監視可能です。

□UPS 連携

- ・UPS 連携機能により、本製品に接続されたパソコンまたは周辺機器の停電時での自動シャットダウン／電源断／UPS 出力停止や、復電時に自動的に電源を入れることができます。

□コンソール透過接続機能

- ・本製品を経由して、周辺機器へコンソール接続することができます。

■動作環境について

サポート装置	サポート OS	サポート機能				
		電源制御・UPS 連携	スケジュール運転	コンソール透過通信機能	パソコン監視 ^{注 1}	簡易パソコン監視 ^{注 2}
FMV シリーズパソコン	・ Windows Vista ・ Windows XP SP2 以降 ・ Windows 2000 SP4 以降	○	○	×	○	○
周辺機器	—	○	○	○ ^{注 3}	×	○

注 1：パソコン監視機能とは次の機能を指します。

- ・パソコンの起動完了監視機能
- ・ウォッチャドック監視（OS ハングアップ監視）機能
- どちらもエージェントソフトを用いた RS-232C インターフェース経由の監視機能です。電源制御ボックス接続用ケーブル（FMCBL627）を使用してください。

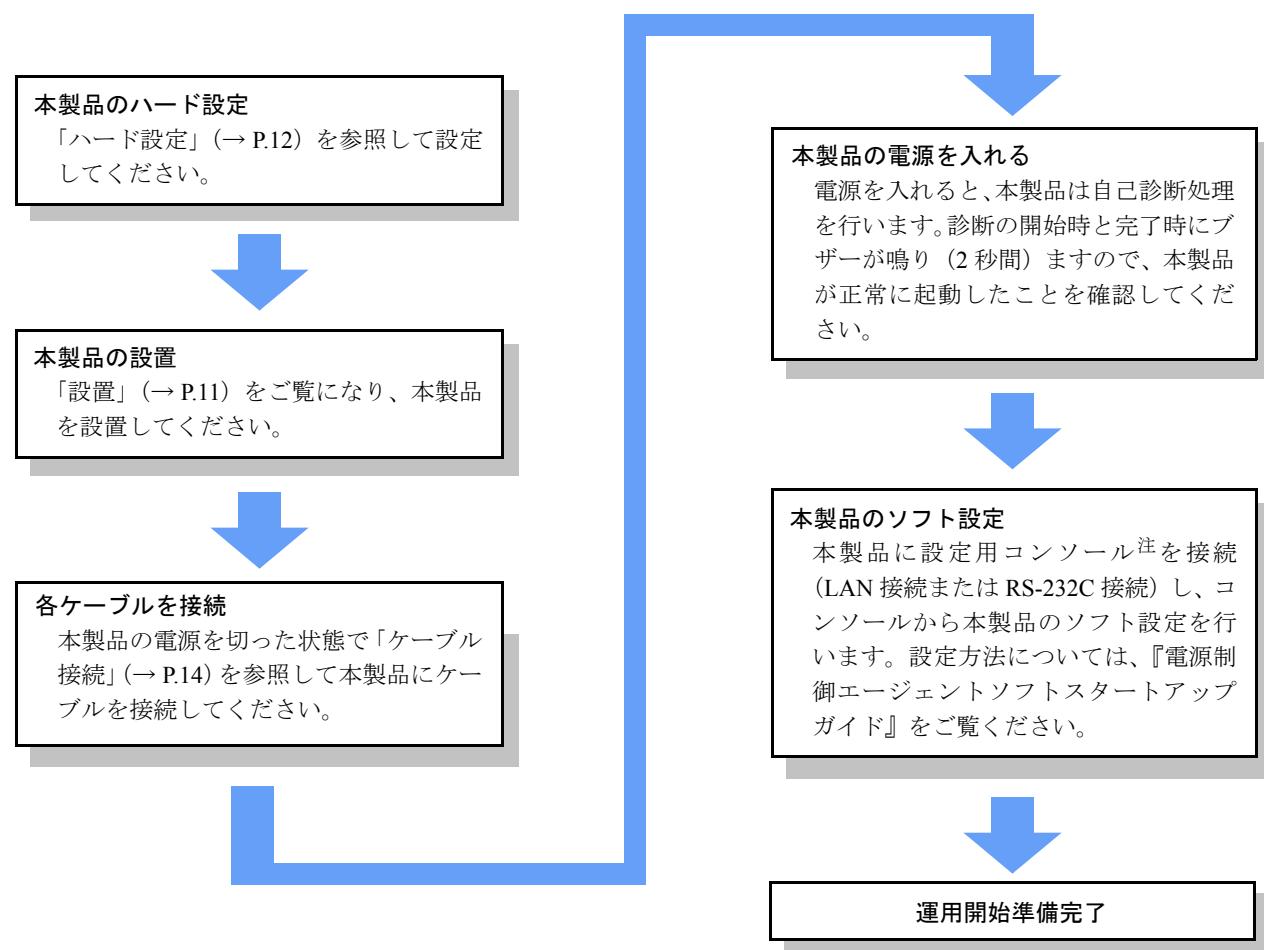
注 2：簡易パソコン監視機能とは次の機能を指します。

- ・LAN 経由での PING コマンドによる監視機能
- ・RS-232C インターフェース経由での DSR 信号による監視機能

注 3：お使いのパソコン本体のコネクタの仕様をパソコンのマニュアルで確認し、接続に必要なケーブルをご用意ください。

運用までの手順

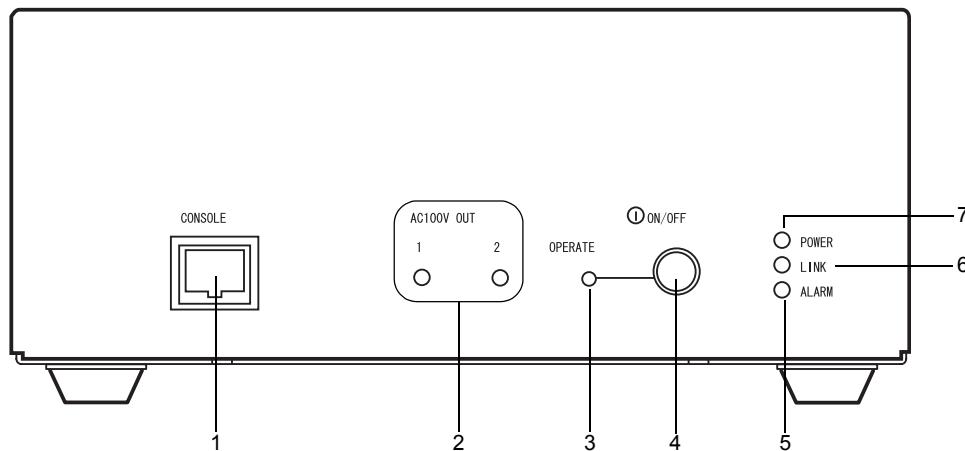
本製品の設定から運用までの手順は、次のようにになります。



注： 設定用コンソールは FMV などを別途ご用意ください。

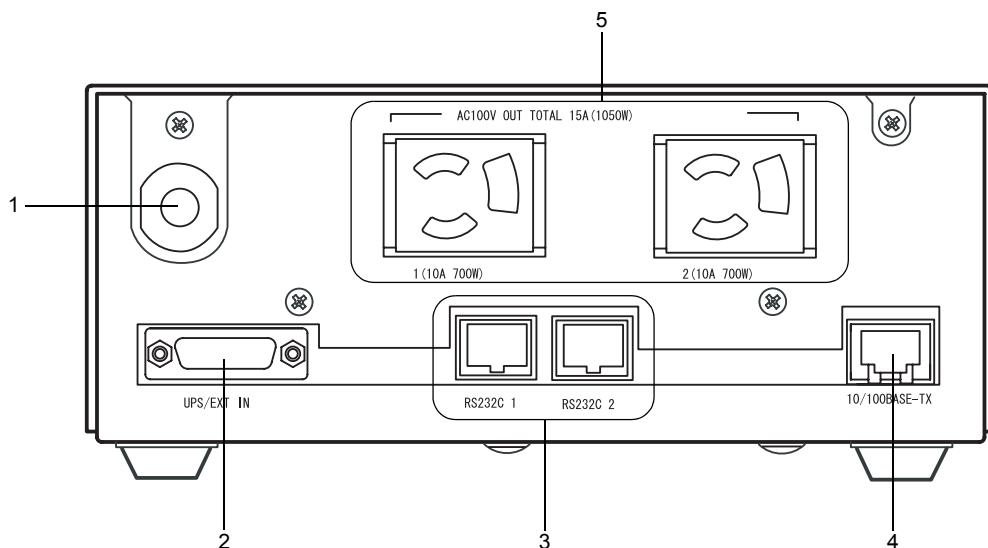
各部の名称と働き

■本体前面



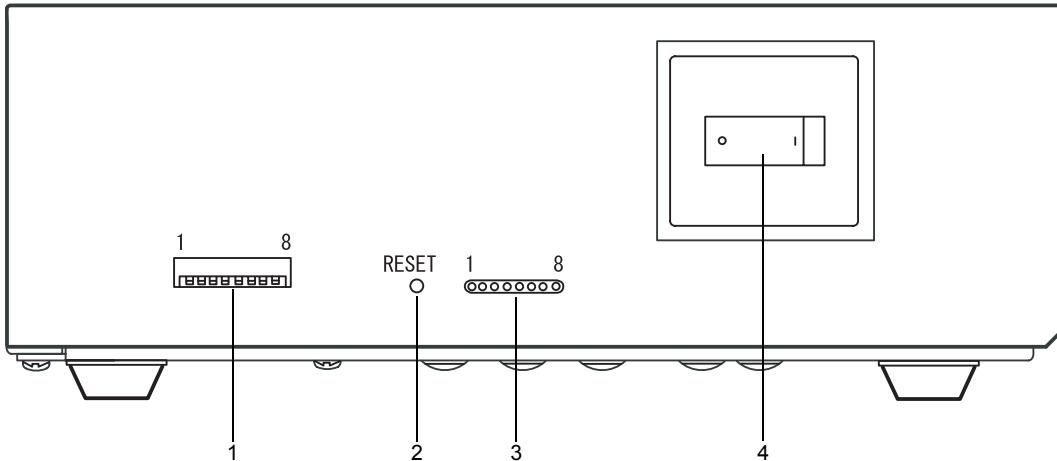
番号	名称	表示	説明
1	コンソール接続コネクタ (設定／保守用)	CONSOLE	本製品の設定をパソコンから行う時に使用します。また、保守時にも使用します。(RJ-45 コネクタ)。
2	コンセント状態ランプ	AC100V OUT1 ~ 2	各AC出力コンセントに接続されたパソコンや周辺機器の状態を表示します。 ・ LED 点灯：「接続装置の電源が入ってる」状態を表します。 ・ LED 点滅：「接続装置がシャットダウン処理中」の状態を表します。 ・ LED 消灯：「接続装置の電源が切れている」状態を表します。 ・ LED 速点滅：該当ポートの「パソコンの異常」を表します。
3	OPERATE ランプ	OPERATE	電源 ON/OFF スイッチの操作が有効であることを示します。
4	電源 ON/OFF スイッチ	ON/OFF	このスイッチを押すことにより、全 AC コンセントを一括で電源を入れたり切ったりすることができます。
5	ALARM ランプ (オレンジ)	ALARM	警告または異常状態となった場合に、点灯または点滅します。
6	LINK UP ランプ (緑)	LINK	LINK 確立で点灯し、通信中は点滅します。
7	本体電源ランプ (緑)	POWER	本製品が電源が入った状態になると点灯します。

■本体背面



番号	名称	表示	説明
1	AC ケーブル	—	本製品の電源ケーブルです。 コンセントまたは UPS に接続してください。
2	UPS / 外部接点入力信号用 コネクタ	UPS/EXT IN	UPS 接続 (UPS ケーブル使用時)、または外部機器接続 (EXT ケーブル使用時) 用のコネクタです (ハーフピッチ 20 ピン)。
3	シリアルコネクタ	RS232C 1 ~ 2	パソコン接続用のコネクタです (RJ-45)。電源制御対象のパソコンと接続する場合に使用します。
4	LAN コネクタ	10/100BASE-TX	LAN 接続用コネクタです (RJ-45)。 Auto Negotiation のみ有効です (本装置を接続するスイッチングハブなどの LAN ポートの設定が、Auto Negotiation であることを確認してください)。
5	AC 出力コンセント	AC100V TOTAL 15A (1050W) 1 (10A 700W) ~ 2 (10A 700W)	電源制御用 AC100V 出力コンセント (2 個) です。 1 つのコンセントの最大定格は 10A (700W) です。 2 つのコンセントの合計が 15A (1050W) 以下になるようにしてください。

■本体右側面



番号	名称	表示	説明
1	ディップスイッチ	—	ハード設定用のスイッチです。 ※ご購入時の設定は全て「OFF」です。
2	リセットスイッチ	RESET	本製品がシステムダウンした場合にリセットするスイッチです。スイッチを押したとき、AC出力コンセントの状態は保持されますので、接続してあるパソコンに電源を供給したまま本製品の復旧が行えます。 本製品の設定反映時、およびファームバージョンアップ後の「再起動」時には、本スイッチを使用しないでください。 ファームバージョンアップについては、『オペレーションガイド』をご覧ください。
3	エラー表示用ランプ	—	エラーコードを表示します。
4	メインスイッチ	—	本製品のNFB（ノーヒューズブレーカスイッチ）です。本スイッチONにより、本体電源ランプが点灯します。

お使いになる上でのご注意

- システム構築に当たっては、次の点にご注意ください。
 - 本製品は、ファイアウォール内に設置してください。
 - 本製品とネットワーク接続するパソコンおよび周辺機器の台数は、26台以内としてください。
ネットワーク接続するパソコンおよび周辺機器とは、本製品を監視するパソコンおよび周辺機器、SNMPマネージャ、および本製品が監視する対象パソコンおよび周辺機器を指します。
 - 本製品と同じセグメント内のブロードキャスト負荷は、1.2Mbps以内としてください。また、同じセグメント内にIPプロトコル以外のプロトコルを使用しないでください。
 - 本製品と同じセグメント内のネットワーク機器の台数は、200台以内としてください。
 - 本製品はスイッチングHUBなどのARPテーブル変更のタイミングを早めるために、本製品のLANポートのLink確立後、15分間にARPパケットを1分間に1回発行します。
- 本製品のメイン電源を切る場合は、パソコンのシャットダウン後に行ってください。運用中に本製品のメイン電源を切ると、接続装置の電源が強制的に切れられます。
- 本製品は周囲温度が35°Cを超える環境では使用できません。また、コンセントAC OUTは、1コンセント当たり10A(700W)以内、2個のコンセントの合計が15A(1,050W)以内で使用してください。容量を越えて使用すると、火災の原因となる恐れがあります。
- 本製品とパソコン間のRS-232C通信が正常に行なわれていない状態で電源を切る操作を行った場合、シャットダウン処理を実施しないまま電源を切る処理を行います。特に初期導入時は、運用前に本製品とパソコン間でRS-232C通信が正常に行なわれていることを確認してください。

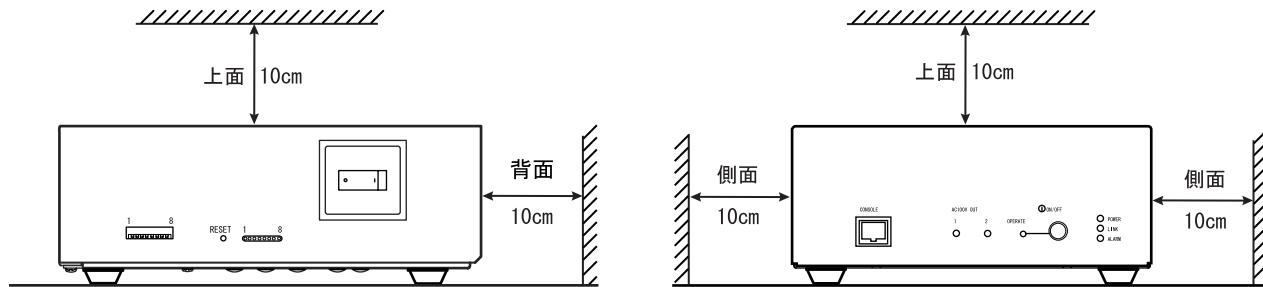
- ・AC 出力コンセントから電源を供給する装置には、並行 2 極接地極付プラグのある AC ケーブルをご使用ください。「3P・2P 変換コネクタ」はご使用にならないでください。
ご使用になっている電源環境によっては、感電などのおそれがあります。
- ・本製品を使用する際、次の電源制御機能はご使用にならないでください。
 - パソコンの BIOS 設定について
 - ・復電時に電源を入れる場合は、常に電源が入った状態になるよう、設定してください。
 - ・省電力モードを「無効」にしてください。省電力モードが有効な場合、電源切った後に電源を入れなおすことができなくなります。
 - UPS 管理ソフトについて
本製品は以下のような UPS 管理ソフトとの同時使用はできません。
 - ・Windows の UPS 管理機能
 - ・UPS 運用管理オプション（FMUP-AP203）
 - ・パソコン監視機能の異常ログについて
パソコン監視機能が「有効」の場合、Windows のリブートを行なうと、本製品はパソコン異常（ケーブル異常、Ping 監視異常、ウォッチドック監視異常）を検出します。これらの異常はパソコン起動後に復旧します。
監視機能の設定を有効にするには、『オペレーションガイド』をご覧ください。

2 設置

設置場所について

※ 重要

- ▶ 本製品は、「縦置き設置」のみ可能です。「横置き設置」はできません。
- ▶ 本製品は、「多段積み設置」はしないでください。
- ▶ 本製品は、前面、背面、左右側面で放熱（自然空冷）を行います。本製品は、前面側に壁などの遮蔽物がなく、両側面、背面、上面側にそれぞれ 10cm 以上の空間を確保できる場所に設置してください。
- ▶ 本製品周囲の温度が 35 °C を超えるような場所に設置しないでください。



接続する

■ 電源プラグを接続する

本製品の電源プラグを、コンセントに接続します。

⚠ 注意

- ! 本製品の電源プラグは、必ずアース付きのコンセントに接続してください。

■ パソコンや周辺機器などを接続する

本製品の出力コンセントに、パソコンや周辺機器などの電源プラグを接続します。

※ 重要

- ▶ 出力コンセントに電源プラグを接続する際には、電源プラグが容易に抜けるのを防ぐために電源プラグを確実に接続し、時計方向に回して必ずロックしてください。
- ▶ 本製品に接続するパソコンや周辺機器の電源プラグは、平行 2 極接地極付プラグをご使用ください。

本製品に接続するパソコンや周辺機器の負荷容量の合計が「15A (1050W) 以下 (1 つのコンセントは 10A (700W) 以下)」になるように出力コンセントを使用してください。

接続方法については、「接続形態」(→ P.13) をご覧ください。

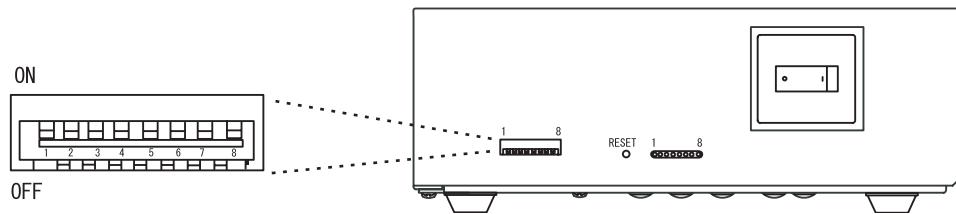
3 システムの設定

ここでは、電源制御ボックスをご使用していただくにあたって必要な設定について説明しています。

ハード設定

本製品のご使用の前に、ディップスイッチ設定が必要です。ご購入時の設定値はすべて OFF になっています。設定値の変更は、必ずメインスイッチを○側に押した状態で行ってください。

「本体右側面」(→ P.9)



ディップスイッチの番号	設定名称	設定内容
1,2,3,4	その他	必ず OFF としてください
5	パラメータ初期化	内部メモリに記録される設定値は、電源を切っても保持することができます。その設定値を初期化（デフォルト値に戻す）する場合に ON にします。 本設定は本製品の電源が切れる状態で ON にしてください。その後、本製品に電源が入ると設定が初期化されます。 本製品起動完了後は、必ず OFF に戻してください。
6,7,8	その他	必ず OFF としてください

ソフト設定

ハード設定以外にソフト設定（パラメータ設定）があります。

本製品を使用してパソコンの電源制御を行うためには、「電源制御エージェントソフト」のインストールが必要です。「エージェントソフト」のインストール方法については、『電源制御エージェントソフトスタートアップガイド』を参照し、手順に従ってインストールしてください。

4 接続形態

使用するケーブル

本製品とパソコンや周辺機器を接続する場合は、次のケーブルをご使用ください。

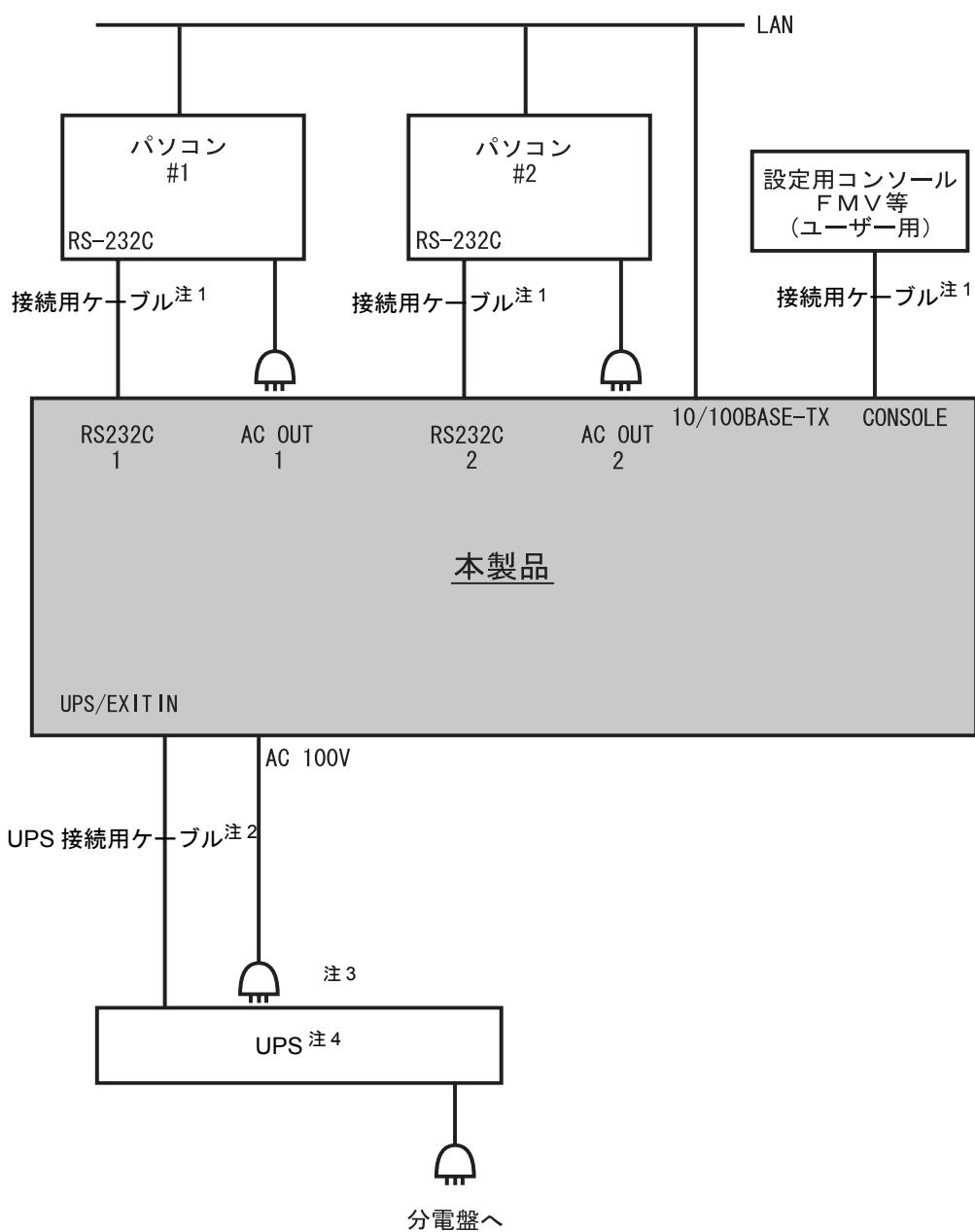
■電源制御ボックス接続用ケーブル（FMCBL627）

本製品の RS-232C（1～2）コネクタとパソコン側のシリアルコネクタを接続するためのケーブルです（3m）。
本製品のコンソール接続コネクタとパソコン側（9ピン）ポートも、このケーブルで接続します。

■UPS 接続用ケーブル（FMCBL626）

本製品の UPS／外部接点入力信号用コネクタと無停電電源装置（FMUPS-203）を接続するケーブルです（3m）。
本製品の電源ケーブルと UPS ケーブルは、同一の UPS に接続してください。

ケーブル接続



注 1：電源制御ボックス接続用ケーブル（FMCBL627）

「使用するケーブル」（→ P.13）

注 2：UPS 接続用ケーブル（FMCBL626）

「使用するケーブル」（→ P.13）

注 3：UPS をご使用にならない場合は、AC コンセントは分電盤へ接続してください。この場合、UPS 接続ケーブルは使用しません。

注 4：UPS に接続している場合は、本製品または UPS 接続用ケーブルは、同一の UPS に接続してください。

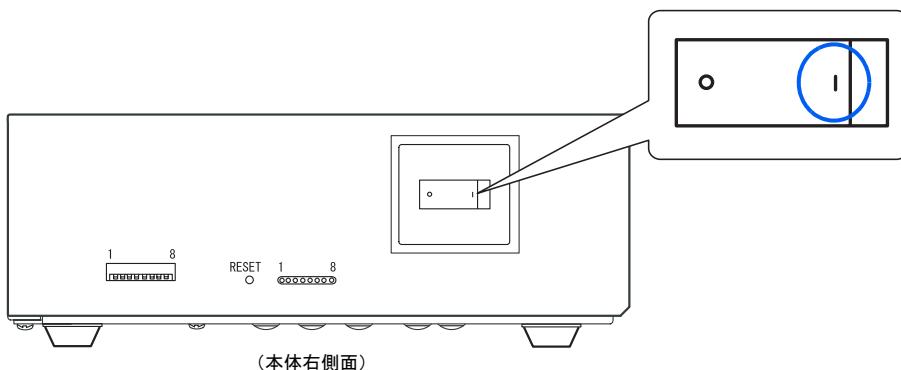
5 運転

電源を入れる

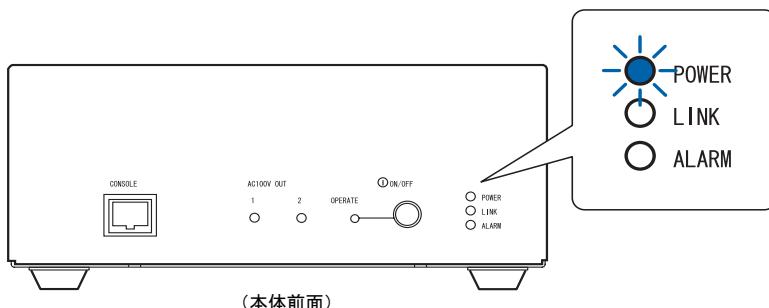
1 入力電源およびパソコンや周辺機器が本製品に正しく接続されていることを確認します。

接続されていない場合は、「接続する」(→ P.11) および「接続形態」(→ P.13) をご覧ください。

2 本体右側面にあるメインスイッチの | 側を押します。



本体前面にある本体電源ランプ（緑）が点灯したのを確認します。



3 自動で自己診断チェックが行われます。

電源を入れてから約 3 秒後にブザーが 2 秒間鳴り、自己診断が始まります。

自己診断が正常に終了すると、約 26 秒後に再度ブザーが 2 秒間鳴ります。

異常時は ALARM ランプ（オレンジ）が点灯または点滅します。

「トラブル時の対応」(→ P.18)

自己診断に異常がなければ通常状態となります。

ランプ	コンセント 状態ランプ	OPERATE ランプ	本体電源ランプ (緑)	ALARM ランプ (オレンジ)	LINK ランプ (緑)
状態	AC100V OUT 1 2 ○ ○ 消灯	OPERATE 点灯	POWER 点灯	ALARM 消灯	LINK リンク時：点灯 通信時：点滅

4 パソコンや周辺機器などの電源を入れ、ALARM ランプ（オレンジ）の点灯／点滅などがないことを確認します。

パソコンや周辺機器の電源の入れ方はいくつかの方法があります。詳しくは『電源制御エージェントソフトスタートアップガイド』や『オペレーションガイド』をご覧ください。

異常を確認した場合は、「トラブル時の対応」（→ P.18）に従って対処してください。

POINT

- ▶ OPERATE ランプが点灯状態の場合、本製品は手動で電源を入れることができます。その場合は、手順 3 の次に本体前面にある電源 ON/OFF スイッチを約 5 秒間押します。



電源を切る

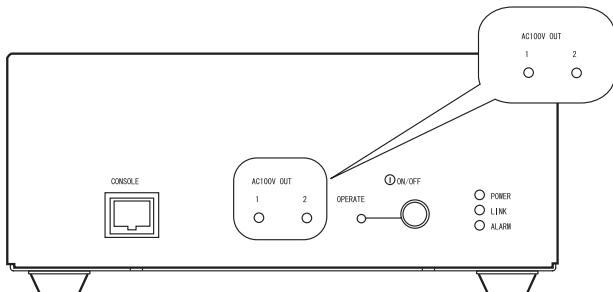
⚠ 注意

- ! 本製品に接続されているパソコンや周辺機器の電源が入ったまま、本製品の電源を切ると、パソコンや周辺機器の電源も切れます。
必ずパソコンや周辺機器の電源を先に切ってから、本製品の電源を切ってください。

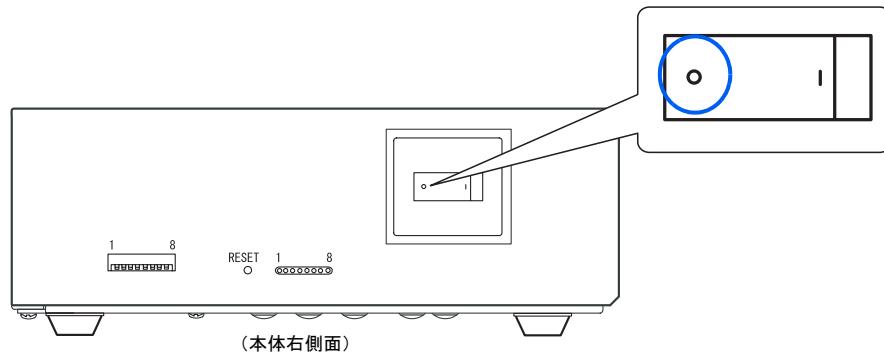
1 パソコンや周辺機器などの電源を切ります。

パソコンや周辺機器の電源の切り方はいくつかの方法があります。詳しくは『電源制御エージェントソフトスタートアップガイド』や『オペレーションガイド』をご覧ください。

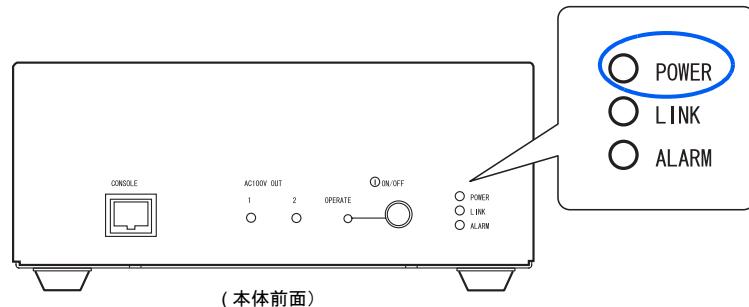
2 本体前面にあるコンセント状態ランプが消灯していることを確認します。



3 本体右側にあるメインスイッチの○側を押します。



本体前面にある本体電源ランプ（緑）が消灯します。



4 AC ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

POINT

▶ OPERATION ランプが点灯状態の場合、本製品は手動で電源を切ることができます。その場合は、本体前面にある電源 ON/OFF スイッチを約 5 秒間押し続けます。

AC 出力コンセントへの電力供給が停止されます。



6 トラブル時の対応

トラブルの確認

本製品の調子がおかしい、パソコンや周辺機器が突然停止したなどの場合は、本製品前面のランプを確認し、「トラブルの対応」（→ P.18）をご覧ください。

コンセント状態ランプ (AC100V OUT1 ~ 2)	アラーム内容 ALARM ランプ (ALARM)		
	● 点灯	★ 点滅	○ 消灯
● コンセント状態保持 (点灯)	UPS 異常	—	正常
★ 該当コンセント状態ランプ のみ速点滅	パソコン異常	—	—
● 全点灯	—	自己診断異常 本製品内部異常	—

トラブルの対応

■UPS 異常

本製品の UPS 連携機能を使用している場合に、商用電源停電信号または UPS バッテリ容量低下信号を検出すると、UPS 異常のアラームを表示します。このとき、本製品は接続されたパソコンに対しシャットダウンを実行します。復旧する場合は、「電源を入れる」（→ P.15）の手順 4 以降に従ってください。

なお、異常検出からシャットダウンが開始するまでの時間は、本製品の設定により変更可能です。詳しくは本製品に添付されている『オペレーションガイド』をご覧ください。

■パソコン異常

本製品の設定でパソコン監視機能が有効な場合、接続したパソコンの異常を検出するとパソコン異常のアラームを表示します。異常の組合せにより対応が異なります。装置ログの内容を確認後、次の表をご覧の上、各状態に応じた対応を行なってください。

装置ログの内容の確認については、『オペレーションガイド』をご覧ください。

パソコン異常の詳細				異常要因	対応
簡易パソコン監視機能	パソコン監視機能	パソコン起動完了監視異常	ウォッチドッグ監視異常		
ケーブル異常	Ping 監視異常				
○	—	○	○	電源制御ボックス接続用ケーブルが抜けている	電源制御ボックス接続用ケーブルが接続されていることを確認してください。
—	○	—	—	本製品～パソコン間のネットワーク通信障害、LAN ケーブルが抜けている。	本製品、および接続パソコンにPingを用いて疎通を確認し、疎通しない側の LAN ケーブルの接続を確認してください。両者とも不通の場合は、ネットワーク障害が起きているかどうか確認してください。
—	—	○	○	RS-232C 通信異常	本製品および接続パソコンのCOM ポートの設定を確認してください。
—	○	○	○	OS ハングアップ	ブラウザなどからパソコンの電源を切つてから入れ直してください。
—	—	○	○	エージェントソフトのハングアップ	パソコンの「設定」→「コントロールパネル」→「サービス」より、FMRP203 Agent のサービスの停止／起動を行なってください。

○：異常検出 —：異常未検出

■自己診断異常／本製品内部異常

内部異常発生時に、本体前面の ALARM ランプ（オレンジ）が点灯します。その場合は、本体右側面のリセットスイッチをボールペンの先など細いもので押してください。

「本体右側面」（→ P.9）

7 仕様

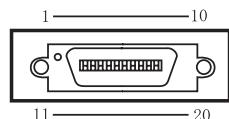
本体仕様

項目	仕様
外形寸法	W185 × D218 × H80mm (ゴム足含む)
重量	2.6kg
入力電源	電圧 AC100V ± 10%
	相数 単相
	周波数 50/60Hz
消費電力 (最大)	30W
発熱量	108.8kJ/h
温湿度条件	温度 5 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80% (結露がないこと)
出力側電源コンセント	電圧 AC100V ± 10%
	最大出力電流 10A (700W) 注1
	形状 並行 2 極接地極付プラグ用 (125V15A) コンセント
電源ケーブル	約 3.5m (並行 2 極接地極付プラグ)

注1：値は、1個のコンセント当りの最大電流値。2個のコンセント負荷の合計が、15A (1050W) を超えないこと。

コネクタ仕様

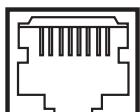
■UPS／外部接点入力信号用コネクタ：ハーフピッチ 20 ピン



ピン番号	信号名	方向	ピン番号	信号名	方向
1	外部接点信号	入力	11	RESERVE	—
2	GND	—	12	RESERVE	—
3	RESERVE	—	13	バッテリ電圧低下信号	入力
4	RESERVE	—	14	GND	—
5	入力停電信号	入力	15	RESERVE	—
6	GND	—	16	RESERVE	—
7	RESERVE	—	17	UPS OFF	出力
8	RESERVE	—	18	GND	—
9	RESERVE	—	19	RESERVE	—
10	RESERVE	—	20	RESERVE	—

■シリアルコネクタ（RJ-45 コネクタ）のピンアサイン

1 ————— 8



ピン番号	信号名	方向	説明
1	CTS	入力	送信可
2	DSR	入力	データセットレディ
3	RXD	入力	受信データ
4	GND	—	グランド
5	GND	—	グランド
6	TXD	出力	送信データ
7	DTR	出力	データ端末レディ
8	RTS	出力	送信要求

**電源制御ボックス (FMRP-203)
取扱説明書**

B5FY-8171-01 Z0-00

**発行日 2007年8月
発行責任 富士通株式会社**

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。